

東北地方 1か月予報

(7月31日から8月30日までの天候見通し)

平成22年7月30日
仙台管区気象台発表

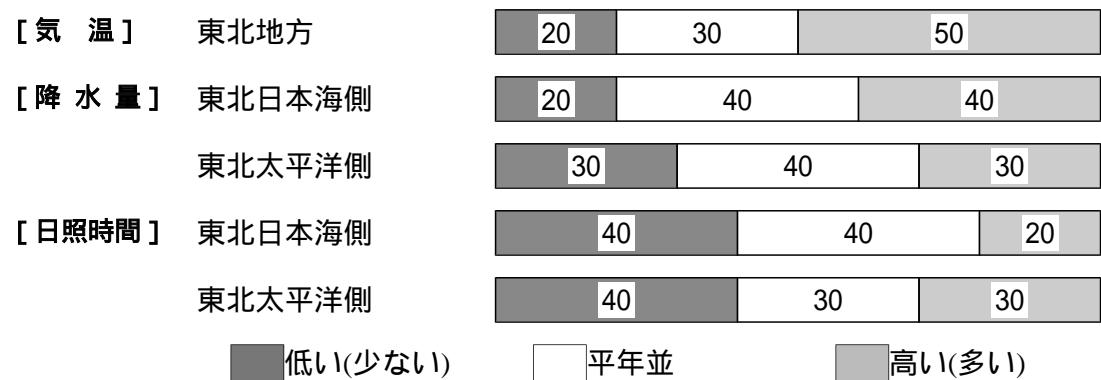
<特に注意を要する事項>

期間の前半を中心に気温の高い状態が続く見込みです。

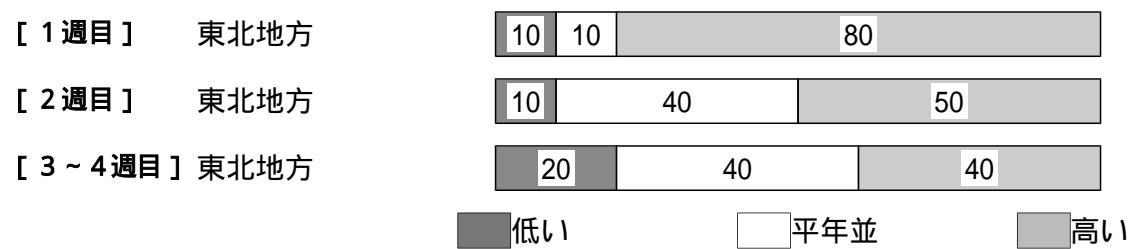
<予想される向こう1か月の天候>

向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。
東北地方は平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。
向こう1か月の気温は、高い確率が50%です。東北日本海側の降水量は、平年並または多い確率がともに40%です。東北日本海側の日照時間は、平年並または少ない確率がともに40%です。
週別の気温は、1週目は高い確率が80%、2週目は高い確率が50%、3~4週目は平年並または高い確率がともに40%です。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



<気温経過の各階級の確率(%)>



<予報の対象期間>

1か月 : 7月31日(土) ~ 8月30日(月)
1週目 : 7月31日(土) ~ 8月6日(金)
2週目 : 8月7日(土) ~ 8月13日(金)
3~4週目 : 8月14日(土) ~ 8月27日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報：毎週金曜日 14時30分 次回は8月6日
3か月予報：8月25日(水) 14時

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間と1週目、2週目、3~4週目の平均気温)

	気温()	降水量(mm)	日照時間(時間)	気温()		
				1週目	2週目	3~4週目
青森	23.0	127.7	191.4	23.7	23.5	22.7
深浦	23.1	157.5	186.3	23.6	23.5	22.9
むつ	21.7	134.5	154.4	22.2	22.0	21.4
八戸	22.3	135.8	174.8	22.9	22.7	22.1
秋田	24.5	176.5	201.2	24.9	24.9	24.4
盛岡	23.2	169.4	159.6	23.8	23.6	23.0
大船渡	23.0	182.0	162.3	23.4	23.3	22.8
宮古	22.2	168.6	166.4	22.6	22.5	22.1
仙台	24.1	163.6	156.2	24.5	24.4	23.9
石巻	23.5	118.1	178.7	23.6	23.7	23.4
山形	24.6	140.9	185.4	25.3	25.0	24.4
新庄	23.9	165.5	178.8	24.5	24.3	23.7
酒田	24.9	171.3	213.1	25.4	25.3	24.8
福島	25.2	136.2	159.9	25.8	25.6	25.0
若松	24.8	126.6	200.2	25.3	25.1	24.6
白河	23.3	212.5	155.1	23.8	23.6	23.1
小名浜	23.9	128.8	194.8	23.7	23.9	24.0

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971~2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.4 ~ +0.6	73 ~ 120	89 ~ 110
東北日本海側	-0.5 ~ +0.5	77 ~ 110	91 ~ 112
東北太平洋側	-0.4 ~ +0.6	67 ~ 126	87 ~ 112

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3~4週目
東北地方	-0.7 ~ +1.2	-0.7 ~ +1.0	-0.5 ~ +0.9
東北日本海側	-0.8 ~ +1.1	-0.8 ~ +1.0	-0.5 ~ +0.9
東北太平洋側	-0.6 ~ +1.3	-0.7 ~ +1.2	-0.5 ~ +0.8

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温(降水量)等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971~2000年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10%以下や60%以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

東北地方 1か月予報解説資料

平成22年7月30日 仙台管区気象台

1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう1か月(7月31日～8月30日)：

東北地方は平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。

なお、期間の前半を中心に気温の高い状態が続く見込みです。

平均気温は高い確率が50%です。東北日本海側の降水量は、平年並または多い確率とともに40%です。東北日本海側の日照時間は、平年並または少ない確率がともに40%です。

1週目(7月31日～8月6日)：

高気圧におおわれて晴れる日が多いですが、期間のはじめは気圧の谷の影響で雨の降るところがあるでしょう。

平均気温は高い確率が80%です。

2週目(8月7日～8月13日)：

低気圧や気圧の谷の影響で、東北地方は平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。

平均気温は高い確率が50%です。

3～4週目(8月14日～8月27日)：

低気圧や前線の影響で、東北地方は平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。

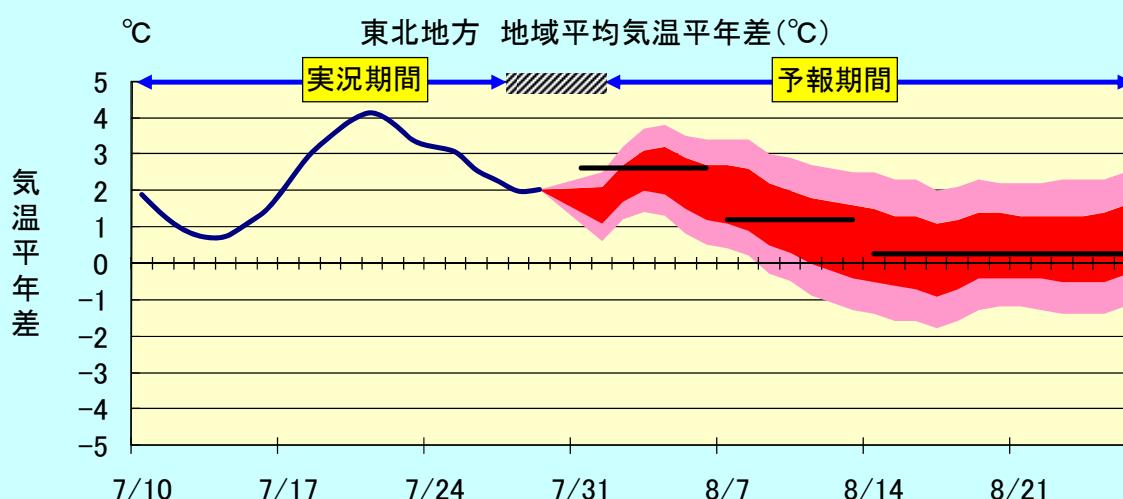
平均気温は平年並または高い確率がともに40%です。

平年の晴れ日数

	向こう28日間	1週目	2週目	3～4週目
東北日本海側	16.3日	3.9日	4.5日	7.9日
東北太平洋側	14.5日	3.7日	4.0日	6.8日

2. 東北地方の平均気温平年差の実況と予測資料

地域平均気温平年差の予測資料では、週別の平均気温は、1週目、2週目は平年を上回り、3～4週目は平年付近の予想となっている。



・グラフの値は全て7日間平均値であり、横軸の値は平均期間の中日。

・予報期間には7日間平均気温の予測に対する信頼の程度が40%の幅(濃い赤の範囲)と信頼の程度が70%の幅(濃い赤と薄い赤の範囲)を表示。

・水平な3本の実線は、予報期間の1週目、2週目、3～4週目の平均を表す。

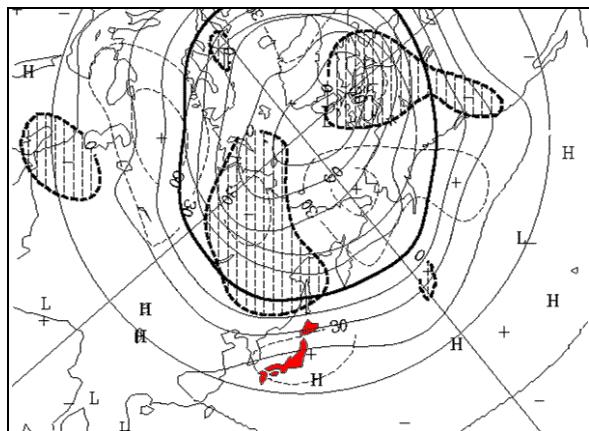
・ハッシュの期間は、発表日の観測値が確定してないため、観測値と予測値に基づいて結んでいる。

3. 1か月平均と1, 2週目の上空の大気の流れの予想 (500hPa 予想天気図)

1か月平均: 日本付近を含む中緯度帯は広く正偏差におおわれる。本州付近は、明瞭な正偏差となり、高温が予想される。北日本では等高度線の間隔が狭く、低気圧や気圧の谷の影響を受けやすい。

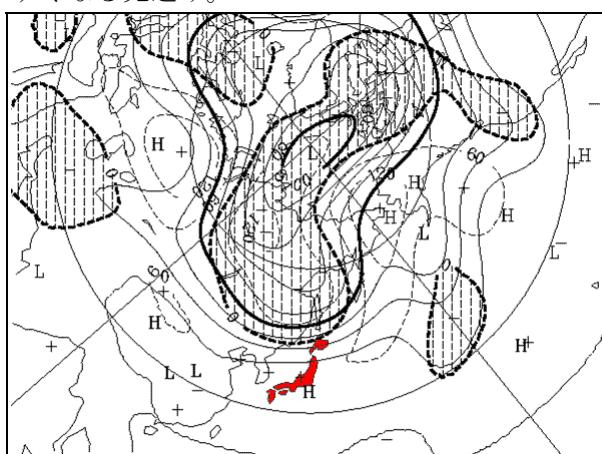
1週目: 日本付近は広く正偏差におおわれるが、中央シベリアからオホーツク海付近にかけて負偏差となる。東北地方では高温が予想されるが、期間のはじめに気圧の谷の影響を受ける見込み。

2週目: 日本付近は広く正偏差におおわれるが、中央シベリアからオホーツク海付近にかけて負偏差が続く。東北地方は高温が予想されるが、西谷傾向となり、低気圧や気圧の谷の影響を受けやすくなる見込み。

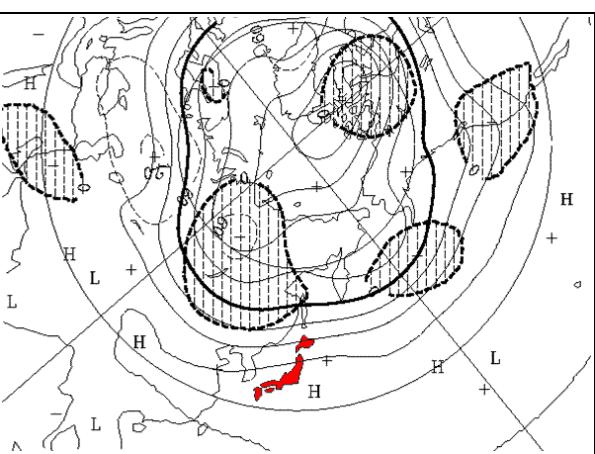


1か月平均 500hPa 予想天気図

(図の見方は1, 2週目と同じ
ただし平年差の間隔は30m毎)



1週目平均 500hPa 予想天気図



2週目平均 500hPa 予想天気図

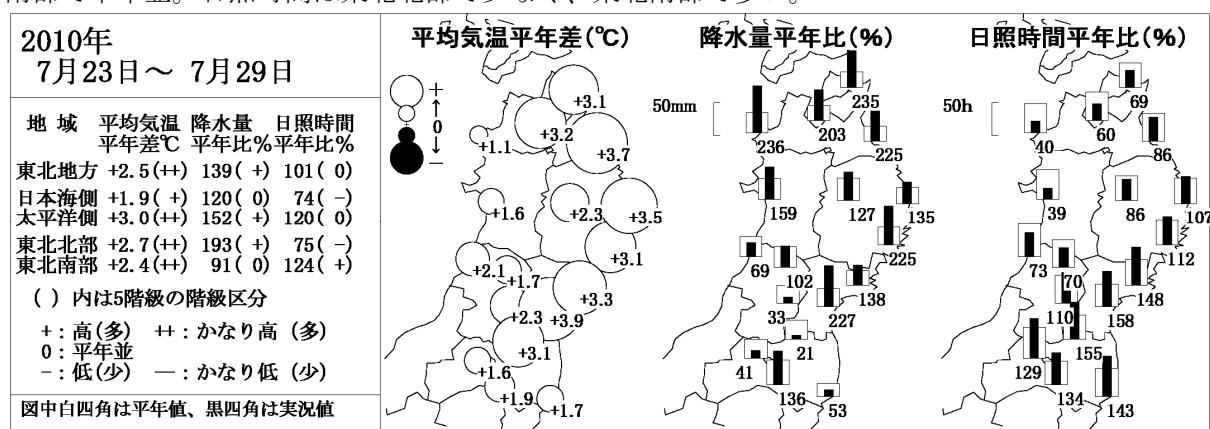
実線は、等高度線（間隔 60m）、点線は、平年差（間隔 60m）

陰影部は、負偏差で一般に寒気に対応する 白抜きは、正偏差で一般に暖気に対応する

4. 最近1週間 (7月23日～7月29日) の天候の経過

この期間、東北北部は気圧の谷の影響で曇りや雨の日が多く、東北南部は高気圧におおわれ晴れの日多かった。24日から26日にかけ大気の状態が不安定となり、秋田県、岩手県、福島県で局地的大雨による浸水や山がけ崩れ害などが発生した。

平均気温は東北日本海側で高く、東北太平洋側でかなり高い。降水量は東北北部で多く、東北南部で平年並。日照時間は東北北部で少なく、東北南部で多い。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差(比)